JAPhMed
The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine
一般財団法人 日本製薬医学会

日本製薬医学会ニュース No.49
JAPhMed Newsletter No.49 issued in Jun 2025

梅雨の季節となり、紫陽花が美しく咲き競う頃となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて来月はいよいよ年次大会です。今月のJAPhMedニュースでは２日間のプログラムのなかでも特に注目が大きいプログラムについて情報を掲載いたしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

広報部会一同

日本製薬医学会第16回年次大会は製薬業界の最先端の話題でいっぱいです！
早期登録は６月30日までです。ぜひお願いいたします！

テーマ　：　「みんなでつくる製薬医学の未来」
会　期　：　2025年 7月25日（金）- 26日（土）
開催形式　：　リアル開催　日本橋ライフサイエンスハブ
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-5
室町ちばぎん三井ビルディング8階（COREDO室町3）
WEB開催　LIVE型Web配信（会期終了後に**オンデマンド配信予定**）

第1日目午前中の教育部会セッションでは、京都大学の西浦博先生に**「数理疫学の製薬医学への応答と展望」**についてご講演いただきます。別会場では、東京科学大学脳神経内科学教室教授にご着任の三澤園子先生が登壇されます。**患者レジストリデータの利活用**へ向けて、製薬企業とのコラボレーションに関する興味深いお話を伺える予定です。

第1日目午後、Medical Safety部会では**次世代に向けた副作用情報提供の在り方**について活発な議論が行われます。別会場では、治療用アプリの開発に関する話題が取り上げられます。第1日目午後のハイライトは大会長企画「**みんなで考える患者・市民参画**」です。筋強直性ジストロフィー患者会事務局長の妹尾みどりさん、ドラベ症候群患者家族会代表の黒岩ルビーさん、日本からの創薬を目指すC4U株式会社三木秀夫先生の力強い活動の源泉は何か？会員の皆様にぜひご視聴いただきたい企画です。

第2日目は2つ目の大会長企画「**新規モダリティにおける開発・創薬の最前線**」で幕を開けます。最先端の創薬研究者３名の発表を見逃さないでください。Medical Affairs部会の**MSL認証基準改定、MSLの教育の重要性**に関するセッション、関西部会の**創薬スタートアップにおける課題と将来展望**と題したセッションにも参加者の注目が集まるでしょう。

第２日目午後は大会長久我の恩師、戸田達史先生にご講演をいただきます。朝日賞、ベルツ賞など数多くの輝かしい受賞歴をお持ちの戸田先生の業績は膨大なものですが、今回は特に**神経内科疾患の治療法開発**についてたっぷりとお話をいただく予定です。２日目最後の臨床開発部会セッションでは、本大会のテーマ「みんなでつくる製薬医学の未来」をふまえて、**いかに日本へ治験・臨床研究を呼び込むか**を議論します。並行して「Best practices in patient and community engagement」を取り上げるIFAPPのセッションも開催されます。

２日間のプログラムが非常に盛りだくさんな内容となっていることがおわかりいただけましたでしょうか？
年次大会への参加をご検討中の皆様には、是非お早目に参加ご登録をお願いいたします！
当日会場で、学会会員の皆様とお目にかかれることを願っております。

第16回年次大会会長　久我　敦

＜年次大会参加申込＞
早期登録期間　：　2025年 6月30日（月）まで
お申込み先リンク：　https://japhmed.jp/japhmed2025/registration.html

◇ JAPhMed会員
・企業ご所属：18,000円
・企業以外にご所属（アカデミア・医療機関・官公庁・患者団体・学生等）：10,000円

◇ JAPhMed非会員
・企業ご所属：20,000円
・企業以外にご所属（アカデミア・医療機関・官公庁・患者団体・学生等）：12,000円

◇ 懇親会（7月25日（金）18時30分から21時　会場にて立食形式予定）
参加希望者は別途4500円

発行：日本製薬医学会

一般財団法人日本製薬医学会 事務局
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-15-33
芝浦清水ビル 株式会社 マディア内
E-mail：zymukyoku@japhmed.org
https://japhmed.jp